

|       |            |        |        |
|-------|------------|--------|--------|
| 講義名称  | 民法 I       | 担当教員名  | 安藤 宏之  |
| 科目群   | 社会科学 (SOC) |        |        |
| 科目区分等 | 法律         | 単 位    | 2      |
| 対象学年次 | 1年・春学期     | ナンバリング | SOC133 |

|                |   |
|----------------|---|
| 授業のキーワード       | 「個人・法人」「動産・不動産」「担保」   |
| 授業の概要          | 私たちの生活を規律する基本法である民法の基礎知識を、実生活と関連付けて身につけることを目的とします。  |
| 期待される学習成果 (目標) | 1. 日常生活に必要な民法の基礎を習得し、法を身近なものとしします。<br>2. 法人、代理、抵当権等について理解が深まり、社会に出ても役立ちます。<br>3. 各種資格試験に必要な知識が身に付き、取得に有益です。 |

| 授業展開 |                    |                                |
|------|--------------------|--------------------------------|
| 回    | テーマ                | 内 容                            |
| 1    | 日常生活と法             | 法と日常生活の関わり、法律の分類・種類            |
| 2    | 取引の当事者 (1)<br>(個人) | 民法の基本理念、権利の主体 (権利能力、意思能力、行為能力) |
| 3    | 取引の当事者 (2)<br>(個人) | 未成年者、被後見人、被保佐人、被補助人            |
| 4    | 取引の当事者 (3)<br>(法人) | 法人について学ぶ (法人の種類、会計、社団法人、財団法人等) |
| 5    | 商業登記               | 株式会社の特色、登記事項証明の見方              |
| 6    | 住所・物               | 住所・本籍・不在者 (失踪宣言)、動産・不動産、不動産登記簿 |
| 7    | 法律行為 (1)           | 法律行為の種類、意思表示、問題ある法律行為          |
| 8    | 法律行為 (2)           | 代理 (表見代理、無権代理)、無効、取消           |
| 9    | 法律行為 (3)           | 条件、期限、期間、時効 (時効の種類、時効期間等)      |
| 10   | 物権 (1)             | 物権の種類、物権の変動と対抗要件 (登記と引渡し)      |
| 11   | 物権 (2)             | 占有権、所有権、地上権、地役権                |
| 12   | 担保物権 (1)           | 担保物権の種類 (質権、留置権、先取特権)          |
| 13   | 担保物権 (2)           | 普通抵当権について                      |
| 14   | 担保物権 (3)           | 根抵当権、特殊な担保権 (譲渡担保、仮登記担保等)      |
| 15   | 全体のまとめ             | 本講の学習内容全体を復習します。               |

|                      |   |
|----------------------|---|
| 定 期 試 験              | 問題文の正誤判定、適宜な語句の穴埋め等、学んだ事項を確認します。  |
| 評 価 方 法              | 期末試験70%、授業貢献度30%  |
| 使用する教科書 (必ず購入してください) | 1. 民事法入門 (有斐閣アルマ) 野村豊弘著<br>2. 小六法 (有斐閣、三省堂等出版社は問いません)<br>3. 資料も適宜提供します。 |
| 参 考 文 献              | その都度紹介します。  |